



9月9日は 救急の日

救急の日は、「9（きゅう）9（きゅう）」の語呂合わせから、救急医療関係者の意識を高めるとともに、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的として、1982年に厚生省（現 厚生労働省）によって定められました。

当院でも、救急外来で、マダニに咬まれる、蜂に刺される、熱中症の疑いがあるなどで受診される患者さんが多くいました。それぞれの対応についてご紹介します。

◎マダニに咬まれた場合◎

1. マダニをピンセットや手で無理にとろうとしない。

マダニの頭が皮膚の中に残り傷口が腫れたり、マダニを潰してしまうと、マダニの体液や病原体がヒトの体の中に入り込む恐れがあります。

2. 近くの皮膚科などの医療機関で処置してもらう。

必要に応じて、マダニの感染症検査を実施することも検討しましょう。

3. 咬まれたあと数週間程度は体調の変化に注意が必要です。

発熱などの症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。



◎蜂に刺された場合◎

1. その場から身を低くして離れる。
2. 傷口を強く絞りながら水でよく洗う。

【次の場合は直ちに病院で治療を受けましょう。】

- ・発疹、吐き気、呼吸困難などの症状が出た場合は緊急を要します。
- ・以前に蜂に刺され、発疹や吐き気などの症状が出た方が再度、刺された場合はショック症状を起こす可能性があるため、特に緊急を要します。
- ・たくさん刺されてしまった方



◎熱中症の疑いがある場合◎

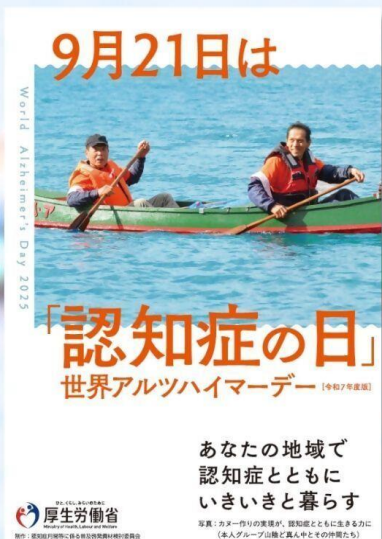
1. 涼しい場所へ移動する。意識がはっきりしない場合は救急車を呼ぶ。
2. 体を冷却する。首や両脇、鼠径部などの太い血管を冷やす。
3. 塩分を同時に補給できる経口補水液を飲む。

ただし、意識がはっきりしない場合や嘔吐のあるときは無理な水分摂取は避けましょう。



9月21日は 世界アルツハイマーデー

2025年度
世界アルツハイマーデー・月間
(認知症の日<9月21日>・認知症月間<9月>)



9月21日は
「認知症の日」
世界アルツハイマーデー [令和7年度版]

あなたの地域で
認知症とともに
いきいきと暮らす

写真：カメラ作りの実況が、認知症とともに生きる力に
(本人グループ山陰と真ん中とその仲間たち)

World Alzheimer's Day 2025
公益社団法人
認知症の人と家族の会

認知症普及啓発資料（ポスター）

国際アルツハイマー病協会（ADI）が認知症への理解を深め、本人や家族への施策の充実を目的に1994年に制定し、9月を世界アルツハイマー月間として世界各国で啓発活動を行っています。

9月が世界アルツハイマー月間、10月が乳がん月間、11月14日が世界糖尿病デーであることにちなみ、当院では病院の看板や駐車場を月毎にそれぞれのシンボルカラーである、**オレンジ**、**ピンク**、**ブルー**で夜間ライトアップをしています。

機会があれば、是非ご覧下さい♪

～生活習慣病教室・しつとこ教室～

- 9月18日(木)午後2時～3時30分 「高血圧」（測定・質疑込み）
- 10月16日(木)午後2時～3時30分 「脂質異常症」

場所：白鳥病院 2 階大会議室 / 参加費 80～390 円

※ご希望の方は、事前予約が必要です。主治医または担当看護師へ

お申し付けください。(感染症対策のため、マスク着用をお願いします)

健康教室（すこやか会）は、今年度の開催は中止となります。

